

千本財団第1期奨学生レポート(1月)

メールアドレス *

echo221299@gmail.com

メールアドレス *

echo221299@gmail.com

名前【NAME】 *

タンズーシェン

所属大学名 *

山梨大学

12月15日奨学生交流会(狂言鑑賞)について、感想を書いてください(200字以上) *

日本に来てから、日本特有の文化に接触する機会があまりありませんでした。ですから、今回の狂言鑑賞に参加することで、初めて日本の文化に接触したように感じられました。狂言鑑賞中、役者たちの話し方を聞いて、まるで昔の人の話し方のように感じました。言葉も現代日常生活においてあまり使わない言葉を使っていました。ですから、役者達が伝えたい事が伝わらなく、冗談が分からないかもしれない。しかし、何事でも経験であることで、また鑑賞出来る機会があれば、ちゃんと冗談が伝わるよう、耳を澄ませて聞きたいと思います。

年末年始はどのように過ごしましたか。 *

私は年末に友達と一緒に山形県へスキーをしに行きました。経験がないため、何回も転んでしまいました。最初はバランスも取れないほどでしたが、だんだんやっていくと少しバランスがとれるようになりました。しかし、急なところではスピードが上がっていくため、またバランスが崩れてしまい、転んでしまいました。次の日は全身あちこち痛くなったが、いい経験だったと思います。機会があれば、またスキーをやりたいと思います。ただ、やはり指導がなければ生半可な知識が身につけてしまうしかないため、次回こそはレッスンを取るようにします。

後期の講義が終了しました。試験の手ごたえも含め、後期の講義についての感想をお願いします (200字以上) *

後期の講義は大体前期で学んだ基礎知識を応用する授業でした。その中でも最も難しいのはやはり微積分とハードウェア、ソフトウェア関連の計算機アーキテクチャでした。微積分は前期よりも難しく、前期の講義に付いて行けなければできないほどの難易度でした。また、前期に学んだプログラミングの基礎を応用する授業がありました。私は学んだことを把握しているとは言えませんが、そこそこはできていると思います。試験前に過去問をやり、何時間もかけて試行錯誤をすることで、ついに正しいソースコードが書けるようになりました。後期の講義を通して、自分はさらに成長しているのではないかと思いました。

このフォームは一般財団法人千本財団 内部で作成されました。

Google フォーム